

## 第4回勝山市水道水源保護審議会 議事録

開催日時 平成31年3月25日(月)午後2時00分～午後4時00分

開催場所 市役所3階第1会議室

出席委員 8名

欠席委員 1名

事務局 6名

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 第3回の議事録の確認

### 4. 議 事

#### (1) 第3回での課題等について

- ①来年度以降の予定について
- ②水道水源井戸の更新・洗浄計画について
- ③観測用井戸の水位データ報告
- ④水道水源井戸と民間井戸の地下水位比較

#### (2) 勝山市の地下水採取の抑制に係る方策について

- ①井戸に関する「届出」・「アンケート」方針(案)
- ②「届出」の対象となる井戸について
- ③「アンケート」での対応となる井戸について

#### (3) 荒土町新道の水源地上流での小水力発電計画について

#### (4) 中間答申(案)について

### 5. 事務連絡

### 6. その他

### 7. 閉会

(議事)

(3) 荒土町新道の水源地上流での小水力発電計画について 三峰川電力より説明

※議事順では(3)となっていたが、繰り上げとした。

委員：沈砂池兼水槽については、蓄積した土砂等の清掃が必要だと思われるが、清掃の頻度や方法について教えてほしい。

三峰川：沈砂池の土砂吐きの頻度については、立地・気象に影響される。大雨があった場合は、週に1回の頻度となることもあるが、荒天が少なければ1ヶ月間実施しないこともある。通常の天候であれば、多くて2週間に1回程度である。落ち葉等については、沈砂池兼水槽 蓋を開けられるようになっており、近くに設置したゴミ捨て場に捨て、業者が回収する形になる。

会長：水道施設の水源地と皿川の水質が異なるということは、水道水源は皿川の表流水ではないため、影響がないということでしょうか。

三峰川：そのように考えてよい。

会長：工事でコンクリートの打設を行えば、水のpHに影響があると考えられるが、どのような形で水質のモニタリングを実施するのか。

三峰川：工事を実施し、必要があればモニタリングを実施する。また、工法等でも必要があれば、協議を実施する。

委員：水質の濁度と河川流量について、今年の1月後半についてともに高い数値となっているのは何故か。

三峰川：測定前に降雨があり、それが影響していると思われる。それでも、濁度は水道水の基準以下であり、飲用には影響がないと、測定業者からは聞いている。

会長：数値を見るに、相当きれいな水である。

委員：取水口の箇所は河川を横断する構造物ができるが、河川の生物移動のモニタリングは実施しているか。もしもそのような生物が生息しているのであれば、対応が必要ではないか。

三峰川：管路のわきには既に砂防堰堤があり、生物の移動はできない状態であり、モニタリン

グは実施していない。

委員：三峰川電力は、売電事業も実施しているのか。売電先は決まっていないとのことだったが、優先的に勝山市の方で安価で購入して、電力を使用する、といったことは可能なのか。

三峰川：売電に関しては卸売の形であり、電力会社に売電している。消費者への直接小売は現状実施していない。小売事業にも進出した際は計画していきたい。また、契約上は電力会社を挟むことになるものの、実態としては地元の方が小水力発電所の電力を使う形になる。

会長：高く電気を買取るところに売るのが商業的には正しいといえるが、地元への還元についてはどう考えているか。

三峰川：発電所施設等の建設は地元業者が実施する。また、施設があることによる固定資産税の税収がある。ほかにも、地元の方と協議して、どのような形で地元へ貢献できるか検討中である。

事務局：発電機の出力は540kWとのことだったが、これは今まで手掛けた事業の中では、規模的にはどの程度か。また、工事等など、この事業に対するリスクについて、どのようなものがあると考えているか。

三峰川：手がけた小水力発電事業の中では、中規模のものである。小さいものでは200kWから、大規模なものでは10,000kWのものもある。また、リスクについては、維持管理の面で、雪崩による土木設備への影響を想定している。

事務局：施設は有人か、それとも無人か。

三峰川：施設は無人で、長野県の事務所で遠方監視を行う。しかし、施設から2時間以内の地域に、主任技術者を2名（電気・ダム管理）配置する。また、台風の接近等に当たっては、泊まり込み等の準備も行う。

会長：今後、工事に際して調査を実施する予定はあるのか。

三峰川：工事を実施するに当たり懸念が発生したり、指摘を受けたりした場合には実施していくので、ご意見を委員の皆様からいただきたい。また、こちらからも、委員の皆様へ意見を伺うことも考えている。

会 長：三峰川電力については、小水力発電事業のノウハウがあり、今回の説明は、信頼できる回答と考えている。今後も同様の姿勢で取り組んでほしい。

(1) 第3回での課題について 事務局より説明

会 長：資料には添付されていないが、前回の審議会終了後、セーレン勝山工場敷地内の井戸配置図をいただいた。そこには、水脈図が記載されており敷地内の井戸は同じ水源であると思われるような記載がされている。

委 員：かなり昔の地図であるが、この水脈図を基に井戸を設置した。なお、現在は使用されていない井戸もある。冬期は水位が下がるため、貯水ピット・貯水タンクを持っており、夜に水を貯めて、昼に足りない水をそこから使用している。  
今回の勝山市の水源地との比較で水位変動が似通っており連動しているということが分かった。

委 員：立川4号井と5号井は同じ場所なのか。なぜ、揚水量が変わってくるのか。

事 務 局：立川4号井は洗浄しポンプも動いているが水位が低く水が入ってこない状況である。  
5号井については壊れているが入ってくる水が多い。入ってくる水の量が違うためこれだけの差が出ている。

委 員：立川5号井は問題がないということか。

事 務 局：井戸枠が壊れており、平成33年度でさく井更新を検討している。

委 員：さく井の計画について、立川第1水源のほうはしないようだが、この考え方を教えてほしい。

事 務 局：この場所は井戸と井戸が近く、工事をすれば干渉するため、更新ではなく、干渉しない範囲で新たに井戸を掘削したい。そのため、現状では何もできないということ。

(2) 勝山市の地下水採取の抑制に係る方策について

副 会 長：「揚水機吐出口面積合計が 12.6 ㎡を超える」という規定は一般家庭用は含まれないと

いうことでよかったか。また、「分かれば回答」についてはもっと精査が必要ではないか。どのような分析をするのか。

事務局：家庭用の揚水機を確認したところ、この口径以上のものはなかったためこのように記載している。

また、精査が必要というご意見については、井戸の有無と用途について実態把握したいが、井戸の設置年月等については把握したいが回答が難しいものについては分かれば回答としたい。また、分析についてだが、水を撒いた日数等を把握できれば、連続しているのか間隔が空いているか等で水源に与える影響が分析できるのではと考えている。

副会長：「分かれば回答」の集まるデータが少ないと思われる。少ないデータで全体のことを言うのは難しいと考える。それなりの数のデータがないと信頼性がないのではないか。

事務局：本当は全ての回答がほしいところだが、どうしても分からない方がいると考えられるため、分かる範囲で出してほしいという意味である。少ないデータで方向性をどうこうとは考えていない。

会長：統計的には回答率が高くなくても、それなりのデータは得られる。

委員：「揚水機吐出口面積合計が 12.6 ㎥を超える」の「合計」とはどういう意味か。

事務局：吐出口面積が複数あるところが想定されるため合計としている。他市条例を参考としている。

委員：12.6 ㎥を下回っている事業用途は含まれないこととなるのか。

事務局：それもやむを得ないと考えている。

委員：31Pでは、「法人・個人事業主を問わず、事業用途に加え、店舗・工場等の融雪用途に使用している井戸についても把握したい」を記載されているが目的と相違するのではないか。「事業用途のものは含める」としても良いのではないか。

事務局：検討したい。

事務局：家庭用と事業用の違いは営利を目的としているか否かだと思う。ただ、今回の考え方は、当市の水源に影響を与える水量をもつ井戸の届出をしてもらうということである。水量をもって今後、規制や抑制の依頼をお願いするという想定から。事業用でもさほ

ど水量が多くなければ今回の届出対象から外そうかというのが事務局の考えである。

会 長：そこの判断は難しいところであり、事務局にお任せしたい。

#### (4) 中間答申（案）について

特になし

修正があれば、会長に一任することとした

#### 5. 事務連絡

なし

#### 6. その他

事 務 局：中間答申の日程は4月中に会長、副会長2名で行いたい。

委 員：アンケートはいつからやるのか。

事 務 局：6月条例改正後、アンケートも同時並行でやる予定である。

委 員：今回、意見が多くあったが、条例もアンケートも今後審議会がなく行われるということか。審議会を開くか、会長一任にするとかはしないのか。

会 長：会長一任とさせていただきたい。

委 員：(了承)

会 長：答申案・アンケート案については、事前に委員に配布させていただくこととする。

#### 7. 閉会